

令和5年4月18日実施 全国学力・学習状況調査【中学校 英語】松山市の調査結果の概要

1 英語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は全国平均とほぼ同じ状況でした。

「知識・技能」に関する問題では、9項目中7項目、「思考・判断・表現」に関する問題では、8項目中4項目が全国平均とほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域別正答率、「選択式」、「短答式」、「記述式」の問題形式別正答率も全国平均とほぼ同じ状況でした。

2 分析結果から特徴が見られた問題

<p>1 (3)</p> <p>(3) <買物></p>	<p>6</p> <p>④ 次の英語は、友達のエピソード (Event) があるのに違ったメールや、ゲームなどで、マイクやキーボードの音が聞こえてくるように聞こえるものがある。正しいものを2つ選びなさい。</p>	<p>9 (2)</p> <p>(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてスミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下欄部を書き直さない。</p>
<p>正答：4 全国の正答率：49.8% 松山市の正答率： 「全国の正答率をやや下回る」</p>	<p>正答：3 全国の正答率：35.9% 松山市の正答率： 「全国の正答率を大きく下回る」</p>	<p>正答例：Could you 等を用いた依頼する表現 全国の正答率：29.0% 松山市の正答率： 「全国の正答率とほぼ同じ」</p>

3 考察

①(3)は、情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる問題です。松山市では、誤答の3と解答した生徒が多く、買物の会話中にある「the bigger one」は理解できたものの、数量に関する表現である「with some stars」を正確に聞き取ることができなかったと考えられます。

⑥は、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題です。松山市では、誤答の4と解答する生徒の割合が全国よりも上回る結果でした。友達の手紙や各イベントの広告を正確に読み取ることができず、友達の手紙文にある「leave」の意味を間違えて解釈したり、自分や友達の置かれている状況を正確に把握できていなかったりしたことが原因だと考えられます。

⑨(2)は、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる問題です。松山市の正答率は全国平均を上回っており、大文字・小文字の書き分け等の細かな間違いは見られなかったものの、「Could you」等の表現を用いて、相手の行動を促す英文を書くことができていました。

4 これからの学習にあたって

まとまりのある英文を聞いたり読んだりすることを通して、知り得た情報を整理し英文の概要を理解したり、英文の中から自分に必要な情報を正確に捉えたりする学習に取り組む必要があります。また、自分の意見や考えを、その理由とともに説明する言語活動に取り組み、相手に自分の思いや考えが正確に伝わるように、筋道立てて話したり書いたりする経験を積み重ねることが望まれます。